

予

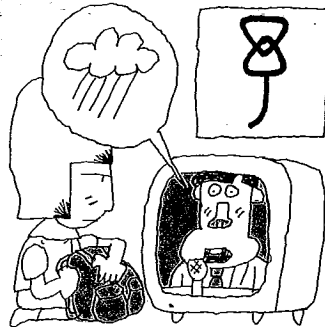
おん ヨ

3年

4画
フ マ ヌ 予

はねる

なりたち 織機の横糸を巻いた管を入れて縦糸の中をくぐらせる杆(の)の形を表した象形字。杆の本字。今は豫(上の)の代わりに使われる。豫は大きな象。ゆつたりの意味から「あらかじめ」の意味に使われる。



いみじゆく
▼あらかじめ。前もって。
予定：前もって決めておくこと。また、その事柄。
予約：あらかじめ約束しておくこと。特に物を買ったり場所をとっておくことを前もって約束すること。

よみかた 予感・予期・予告・予算・予選・予測・予知・予備・予報・猶予

よみかた 予感・予期・予告・予算・予選・予測・予知・予備・予報・猶予

よみかた 予感・予期・予告・予算・予選・予測・予知・予備・予報・猶予

よみかた 予感・予期・予告・予算・予選・予測・予知・予備・予報・猶予

よみかた 予感・予期・予告・予算・予選・予測・予知・予備・予報・猶予

子

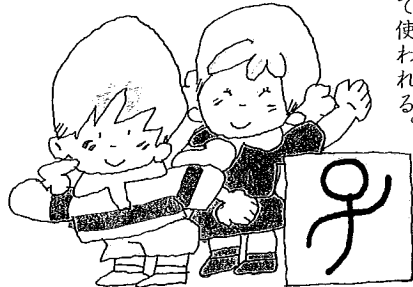
おん シ・ス
こ

1年

3画
フ 了 子

はねる

なりたち 両足がおむつに包まれた子どもの形を表した象形字。子どものこと。同音の師(先生)の意味にも使われ、男子(後には女子)の美称として使われる。



いみじゆく
▼子供。むすこ。むすめ。
子宝：子供を何より大事な宝という意味で言う言葉。
子女：①むすこ(子)とむすめ(女)。②女の子。用例良家の子女。
子息：むすこ。
子孫：子や孫、また、それらから生まれる人々。
子弟：親がかりの若い者。
▼男子の敬称。
君子：人柄や行いが立派な人。
▼小さいもの。
原子：物質を構成する最小のもの。
▼物の名の下に添えて、口調を整える言葉。用例帽子・扇子

よみかた 子会社・子持ち・子役・子午線・子細・子葉・親子・菓子・金子・骨子・種子・男子・調子・天子・分子・母子・迷子・息子・様子

序

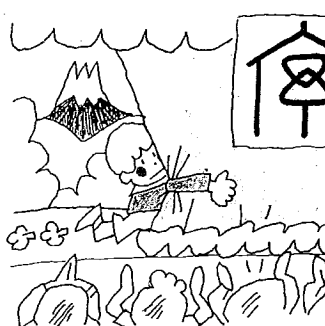
おん ジョ

5年

7画
一 广 序 序 序 序

はねる

なりたち あらかじめ(前の意味)の予と広間の意味の广との会意形声字。奥の間の前の広間のこと。順序としてまずここに入るから「はじめ」。



いみじゆく
▼はじめ。特に書物のはじめに書きそえる文章(前書き)をいう。
序文：前書き。
序説：本論に入る前の準備としての論説。
序章：はじめの章。
序の口：まだはじめたばかりの序の口だよ。
序幕：芝居の最初の幕。転じて、物事の最初の段階のこと。用例終幕。

よみかた 序曲・序言・序数

よみかた 序曲・序言・序数

よみかた 序曲・序言・序数

よみかた 序曲・序言・序数

よみかた 序曲・序言・序数

孫

おん ソン
まこ

4年

10画
了 子 孫 孫 孫 孫

右へはらう

なりたち つながる意味の系と子との会意字で、子につながる「まこ」を表した字。子どもの子とも。孫の子は曾孫(ひまこ)、孫の孫は玄孫(やしやこ)という。



いみじゆく
▼まこ。子どもの子。血統を受けつぐ者たち。
孫子：孫と子。子孫。用例孫子の代まで語り伝えられる話。
外孫：嫁に行った娘の生んだ孫。自分の家に属さない孫。
嫡孫：跡つぎになる孫。嫡子(跡つぎの子)の嫡子。
用例〇〇家の嫡孫。
末孫：後代の子孫。
皇孫：①天皇の孫。②天皇の子孫。
▼間を一つおいている時に使う言葉。
孫弟子：弟子の弟子。
孫引き：他の本に引用してあるものを、そのまま引用すること。

よみかた 子孫



子孫